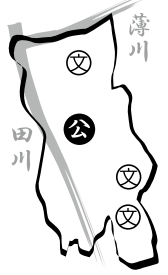


館報

庄内



庄内地区	平成28年3月1日現在人口
世帯数	6,742戸
男	7,485人
女	7,457人
合計	14,942人

庄内地区公民館  
(ゆめひろば庄内)  
電話 24-1811  
FAX 24-1812

庄内地区公民館  
五部門委員会の活動

文化委員会

春は名のみの風の寒さや、今年春暖冬と言われながらも寒い風が吹きました。

春といえは、お雛様を飾る「ひな祭り」は、家庭で行う小さなお祭りです。「健やかに育ち、将来幸せな結婚が出来ますように」と願いを込めたものです。

ひな祭りのもとは、中国での季節の変わり目に健康を願って厄払いをしていたことのようにです。日本では、江戸時代になって人形がだんだんと発達して男女一対の人形をお雛様として、三月三日(松本は月遅れの四月三日)に飾り、季節の食べ物などをお供えして女性達が無事健康に過ごせることを願うようになつたようです。

お雛様は、女の子が誕生すると周りの人達の温かい思い



文化委員会の展示

を形にしたようです。我々の小さい頃は今のような立派なものではないお雛様を飾って母親が作った甘酒を飲んだことを思い出します。その頃は女の子に生まれてくれればよかったなあと思つた事がありました。時代が変わり、住宅事情も変わり、現在ではコンパクトな収納型が主流のようです。

庄内地区公民館にも四月三日まで豪華なお雛様が飾ってありますので、一度ご覧いた

図書視聴覚委員会

本年度の図書視聴覚委員会では、図書コーナーの蔵書点検、子育て委員会とコラボ企画の親子のためのふれあい講座、原田泰治美術館・諏訪湖オルゴール博物館へ行くバス研修という三つの活動を行いました。

蔵書点検では、本の在庫状況と共に傷んだ本を探し修理を行いました。在庫状況は良好でしたが、傷んだ本が数冊ありました。しかし傷んだ状態を見ると、原因は繰り返し読んでいたためなので、本が大いに活用されている事を感じました。

親子のためのふれあい講座では、庄内地区以外の親子の方にも来ていただけて、わらべ歌や



図書視聴覚委員会講演

手遊びに興味を持つ方が多くいることを知り、今後もこういう講座が開催できればと思つています。講師の先生も、ただ聴くだけの講座ではなく、参加型形式で行つたので、小さなお子さんも飽きる事なく楽しめる講座となりました。親子で素敵な時間を持つようにと、準備をして臨んでくださった講師の先生には、心より感謝申し上げます。

バス研修は、視聴覚という面を取り入れて、原田泰治美術館へキルト展を見に行きました。絵がキルトとして表現されている様は、その手作業の細やかさに驚いて帰ってきました。

本年度は、図書の部分を主に活動していましたが、来年度は、視聴覚の部分にも力を入れて活動していきたいと思つています。

コラム

過日、庄内地区「人権学習研修会」に参加して「杉原千畝記念館」を視察しました。

第二次世界大戦中、ナチスドイツの迫害を逃れて来たユダヤ人達が、日本への通過ビザを求め、領事館前におしかけたのです。当時の日本政府は「正規の手続きができない者に、ビザを出してはいけない」というものでした。

千畝は悩み、そして一つの答えを出しました。自分の地位も立場も顧みず国の反対さえ押し切つてビザを発給し続けたその結果六千人ものユダヤ人の尊い命を救つたのでした。

しかし帰国後、千畝に外交官としての職場はありませんでした。二十数年後一人のユダヤ人が千畝を訪ねてきて、当時発給されたポロポロのビザを大切に握りしめていました。

記念館のイスラエル人の職員の話の中で、目の前の一人の命を救い続けた杉原千畝の人間としての偉大な行動をいつまでも忘れませんとの話があり、世界平和、命の大切さを再認識した研修会でした。

### 館報編集委員会

年六回庄内地区公民館館報が発行されていること、みなさんご存知ですか。

平成二十七年五月号は桜祭りと庄内交番・消防署庄内出張所の新任所長の自己紹介。七月号は自転車の安全な乗り方と我が町の防災・町公民館活動紹介。九月号は子ども祭りと我が町の防災・町公民館活動紹介。十一月号はドリム庄内紹介。一月号は各町会小学生が思う我が町紹介。三月号は公民館五委員会の活動実績と今後を掲載してきました。館報はみんなの顔が見える町会になるように頑張っている様子を紹介してきました。平成二十八年度は、地区公民館の委員会・協議会・町会やボランティア団体の自慢話や困りごとを取り上げ、各町会活動に参考になるような話題を発信していきます。

### 子育て委員会

子育て委員会では、未就園



児の親子を対象に、「ちびっこひろば」を企画・運営してきました。公民館の体育館を利用して親子体操やミニ運動会をしたり、調理室で七夕ほうとうやきびおほぎを作って茶話会をしたり、クリスマスコンサートを開いたりしました。また、近所の方の畑をお借りして、野菜の収穫体験をするなど、一年間を通していろいろなことを親子で楽しんできました。

### 公民館の明日を語る会

当会は公民館を中心にして活動する方々と地区の将来を明るく自由に話し合える場として発足して以来、さまざまな観点より公民館活動に幅広く提言を行ってきました。

特に当会の大きな役割のひとつである、秋のドリム庄内では、ゆめひろば設立十周年記念事業として前夜祭のコンサート、三世代による運動会を企画、提言しました。

その前夜祭では地元有志の飲食店ブースも賑わい、盛況のうちに終えることができました。運動会では子ども達も多数参加し、地区の世代を超えた幅広い交流に貢献することができたと思います。

今後、特に若い世代が積極的に地区行事に参加できる楽しく、興味深い活動を模索し、実行できるような提言をしていくことが重要だと思います。

そして、公民館活動に自由で、公正な指針を与え、ときには叱咤、激励していくことこそ、この会の使命であるのではないかと思います。

### 生命科学教室

二月十一日に「生命科学教室」を開催しました。

地区内在住の若い研究者上原博士が中心になって、小学生を対象に、先端生命科学を勉強する催しです。

アイピーエス細胞などテレビにしばしば出てくる難しい言葉。それが、生命科学です。今回は「DNA」を取り出す実験を行いました。

DNAはデオキシリボ核酸と言細胞の中にあつて生物のさまざまな要素を決定する大切な物です。生命を構成している物質を観察して、子ども達の夢を大きくふくらませたことと思います。

地区内に住んでいる科学者の方々の好意とご協力があつてできたことです。関係者の皆さんに感謝申し上げます。



### 秘密基地づくり

信濃むつみ高校との共同企画「秘密基地づくり」を行いました。小学生と一緒に設計制作をしましたが、できあがった秘密基地に、小さな子ども達は大喜び。楽しい高校生と小学生の絆ができました。



### 退任にあたって

六年間庄内地区公民館長として公民館活動を行ってきました。地域の皆様のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。地域の諸団体の方々の活動を支援したりと努力してきましたが、力不足を痛感しております。庄内地区の益々のご発展を心より祈念しております。吉江 進